

NEC

ETOSWEB SERVER V6.3

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは、ETOSWEB SERVER V6.3(以下「ETOSWEB SERVER」と省略します)をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げいただいたソフトウェアのセットアップおよびアンインストールの方法を中心に構成されています。ETOSWEB SERVERをお使いになる前に、必ずお読み下さい。

なお、システムを構築するにあたってはETOSWEB SERVERのマニュアルが必要となります。ETOSWEB SERVERのマニュアルは、『ETOSWEB SERVER V6.3』のパッケージに含まれるCD-ROMに格納されています。

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

- Microsoft、Windows、Windows Server、Visual C++、Visual Studio、Internet Explorer、ActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ネットワークマネージャは、日本電気株式会社の登録商標です。
- その他、本書に登場する製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

目次

1章	動作環境.....	4
1.1.	サーバ環境.....	4
1.2.	クライアント環境.....	5
2章	セットアップ.....	6
3章	アンインストール.....	6
4章	注意・制限事項.....	7
4.1.	製品全般.....	7
4.2.	サーバ環境.....	7
4.3.	クライアント環境.....	8

1章 動作環境

ETOSWEB SERVERをセットアップするには、以下の環境が必要です。詳細については、ETOSWEB SERVER CD-ROMの「ETOSWEB SERVER 導入ガイド」を参照してください。

1.1. サーバ環境

OS/ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise• Microsoft Windows Server 2012 Standard• Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard• Microsoft Windows Server 2016 Standard • Internet Information Services• Active Server Pages • Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2012 • ネットワークマネージャ
メモリサイズ	7.5MB以上 (接続先ホストが異なる毎に5MB必要、1セッション追加毎に0.2MB必要)
ハードディスク	空き容量として15MB以上 (1クライアント起動毎に0.1MB必要)

(注意)

1. Server Core環境、及びMinimal Server Interfaceでの動作は保障しておりません
2. 仮想環境やリモートデスクトップでの動作は保証しておりません。

1.2. クライアント環境

OS/ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft® Windows 7 Professional• Microsoft® Windows 8 Pro• Microsoft® Windows 8.1 Pro• Microsoft® Windows 10 ProMicrosoft® Windows 10 Pro バージョン1511Microsoft® Windows 10 Pro バージョン1607 • Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2012 • Internet Explorer 11.0
メモリサイズ	22MB以上
ハードディスク	空き容量として26MB以上

(注意)

1. 64bitOSでのプリンタ障害通知機能は、Windows 8以降のOSでサポートしています(Windows 7(x64)では未サポートです)。ただし、ご利用には「64bit障害通知対応prライセンス」が必要です。
2. 仮想環境、ターミナルサービスクライアント環境、リモートデスクトップ等での動作は保証しておりません。
3. Windows 10 タブレットモードでの動作は保障しておりません。
4. Windows 10 Pro バージョン1511でLPTポートを使用した印刷を行う場合は、ビルド番号「10586.164」以降が必須です(ビルド番号は、コマンドプロンプトで「winver」を実行して確認してください)。
5. Windows 10 Pro バージョン1607 は、ビルド番号「14393.10」以降が必須です(ビルド番号は、コマンドプロンプトで「winver」を実行して確認してください)。

2章 セットアップ

ETOSWEB SERVERのソフトウェアのセットアップ方法(サーバ環境へのインストール、およびライセンスの追加)については、ETOSWEB SERVER CD-ROMの「ETOSWEB SERVER 導入ガイド」を参照してください。

3章 アンインストール

ETOSWEB SERVERのソフトウェアのアンインストール方法については、ETOSWEB SERVER CD-ROMの「ETOSWEB SERVER 導入ガイド」を参照してください。

4章 注意・制限事項

ETOSWEB SERVERの注意・制限事項については、ETOSWEB SERVER CD-ROMの「ETOSWEB SERVER 導入ガイド」も参照してください。

4.1. 製品全般

- ・旧製品 (ETOSWEB SERVER Ver5.0以前) でサポートしていたETOS制御API機能はサポートしておりません。
ETOS制御API機能の利用を希望される場合は個別に対応いたしますので、弊社担当SEもしくは担当営業にお問い合わせください。

4.2. サーバ環境

- ・以下のランタイムがインストールされていない場合は、インストールしてください。(※)
Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2012

※ランタイムは、ETOSWEB SERVER CD-ROMに格納されています
(¥vcredist_x86¥vcredist_x86.exe)。

または、Microsoft社のホームページから最新版をダウンロードしてください。

4.3. クライアント環境

- 以下のランタイムがインストールされていない場合は、インストールしてください。(※)
Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2012

※ランタイムは、ETOSWEB SERVER CD-ROMに格納されています

(¥vcredist_x86¥vcredist_x86.exe)。

または、Microsoft社のホームページから最新版をダウンロードしてください。

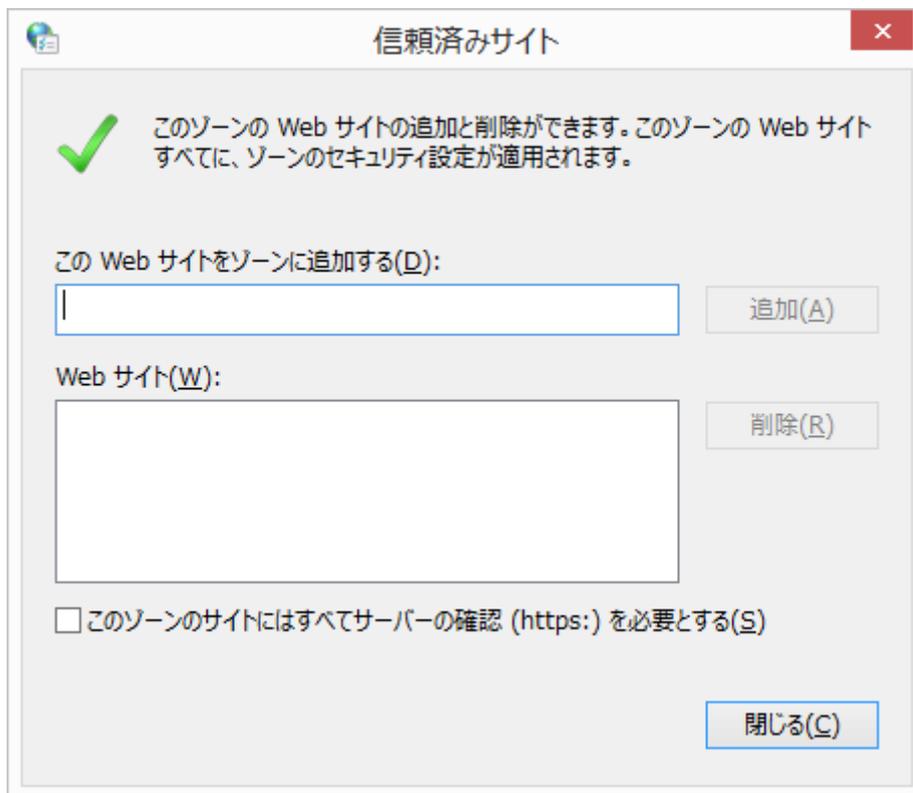
- ETOSWEB SERVERを初めて利用する場合、Internet Explorerを管理者として実行する必要があります(管理者として実行するには、管理者用パスワードが必要です)。なお、Internet Explorerを管理者として実行せずにETOSWEB SERVERの登録を行った場合、正常に動作しない場合があります。
- ETOSWEB SERVERを初めて利用する場合、Internet Explorerの設定を変更してください。本設定は、Internet Explorerを管理者として実行する場合、一般ユーザとして実行する場合のそれぞれで設定する必要があります。

① 信頼済みサイトにWEBサーバのURLを追加する (必須)

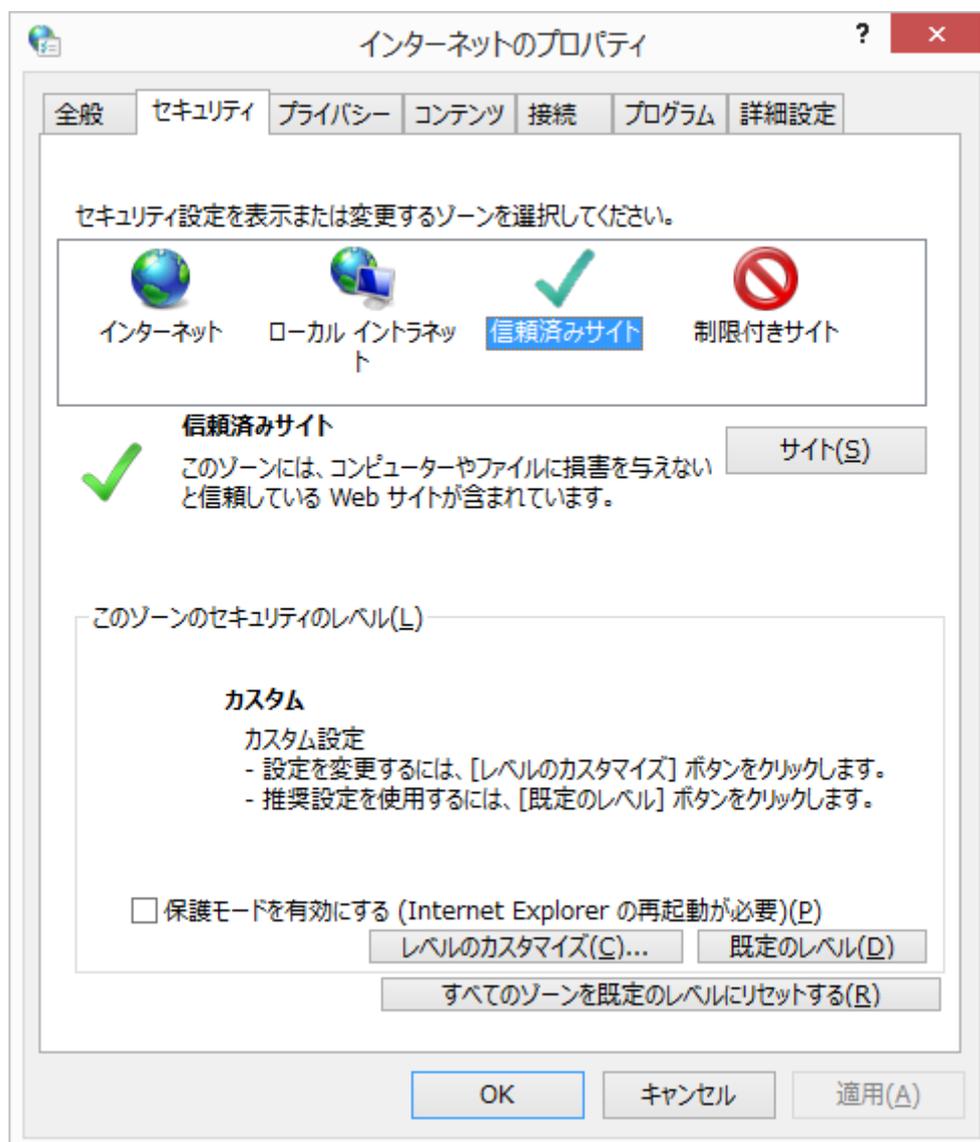
(1) インターネットオプションの「セキュリティ」タブを選択します。

(2) 「信頼済みサイト」を選択し、「サイト(S)」ボタンをクリックします。

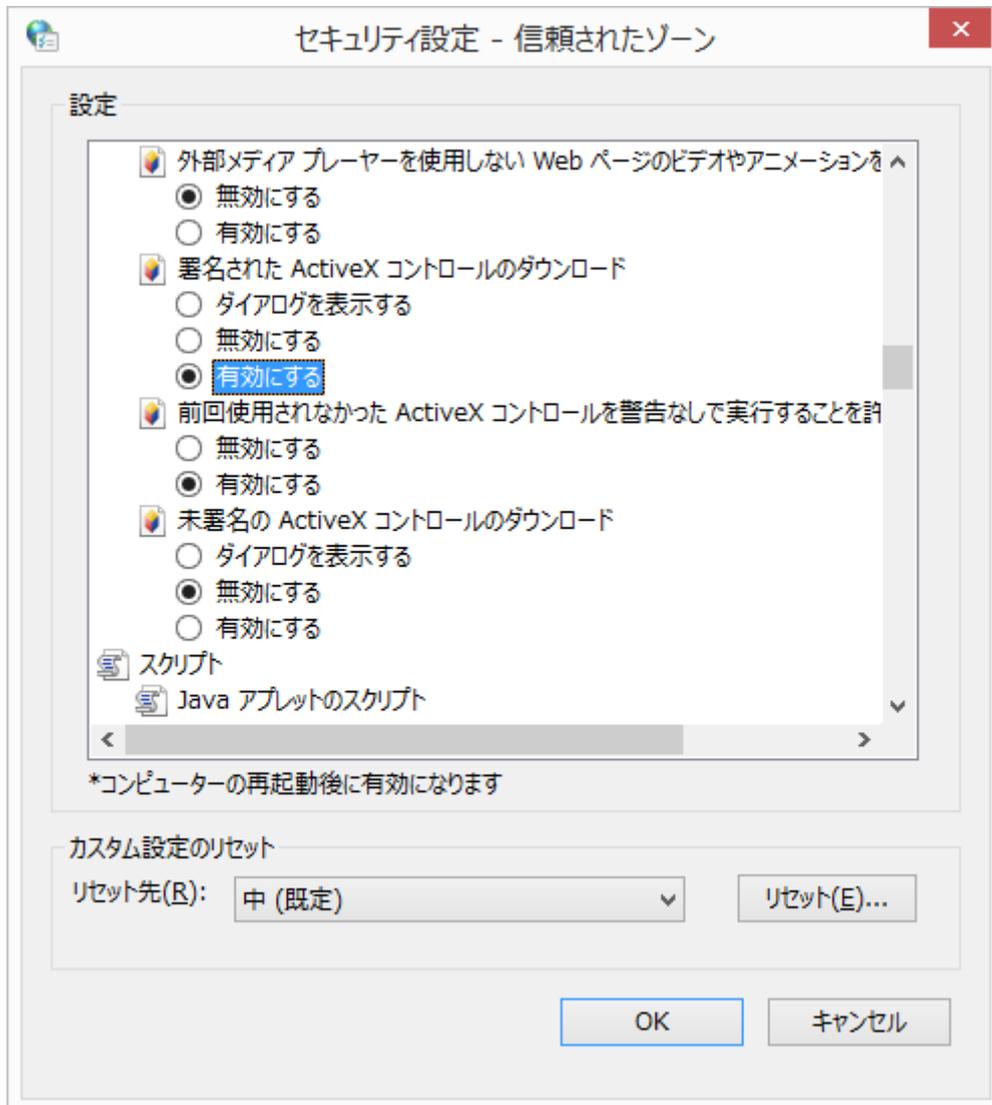
(3) 「このWebサイトをゾーンに追加する(D)」にWEBサーバのURLを入力し、「追加(A)」ボタンをクリックします。



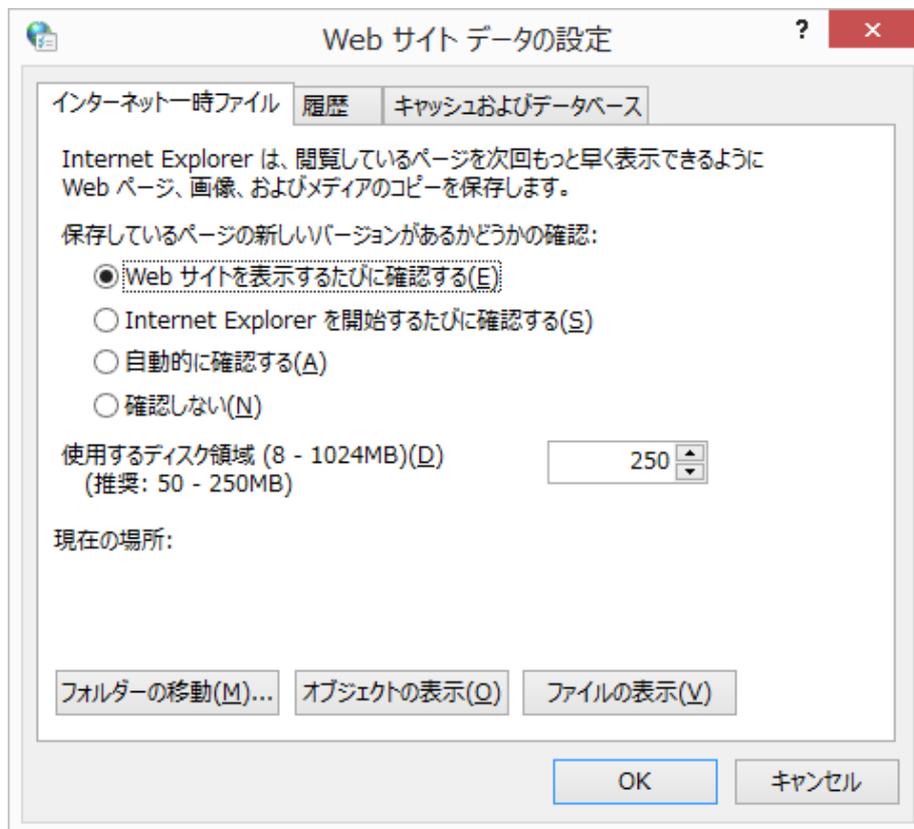
※「信頼済みサイト」ゾーンに対しては、「保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要) (P)」のチェックは付けないでください(既定値では、チェックは外れています)。



- ②署名されたActiveXコントロールのダウンロードを有効にする（推奨）
- (1) インターネットオプションの「セキュリティ」タブを選択します。
 - (2) 「信頼済みサイト」を選択し、「レベルのカスタマイズ(C)」ボタンをクリックします。
 - (3) 「ActiveXコントロールとプラグイン」 - 「署名されたActiveXコントロールのダウンロード」で「有効にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- ・『N5200系障害通知プリンタドライバ(32bit用)』の登録を行う場合も、Internet Explorerを管理者として実行する必要があります。
管理者として実行しない場合、『N5200系障害通知プリンタドライバ(32bit用)』は登録されません。
- ・Windows8(x64)、Windows 8.1(x64)、Windows 10(x64)でN5200系コード印刷の障害通知機能を使用する場合は、「ETOSJX向けWindows64bitOS用プリンタドライバ」を別途インストールする必要があります。
- ・複数ユーザが共有して利用するファイル(下記一覧参照)については、既定の保存先ではなく、すべてのユーザが参照可能なフォルダに保存することを推奨します(既定値の場合、ログオンユーザのみ参照可能なフォルダに保存される場合があります)。
 - ・COMI-2ファイル転送で使用するファイル
 - ・クライアントで記録したマクロファイル
 - ・クライアントで作成したマクロ/簡易操作ファイル
 - ・オフライン印刷出力ファイル
- ・ETOSWEB SERVERを利用する場合、Internet Explorerの以下の設定を変更することを推奨します。
 - (1) インターネットオプションの「全般」タブを選択します。
 - (2) 「閲覧の履歴」の「設定(S)」ボタンをクリックします。
 - (3) 「インターネット一時ファイル」で「Webサイトを表示するたびに確認する(E)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- Internet Explorerのタブブラウザ機能は使用できません。
- プリンキング表示を行った際に文字枠が残る場合は、Windowsの以下の設定を変更してください。
 - (1) 「コントロールパネル」-「デスクトップのカスタマイズ」-「ディスプレイ」の「ClearType テキストの調整」を選択します。
 - (2) 「ClearTypeを有効にする(C)」のチェックを外し、「次へ(N)」ボタンをクリックします(次の画面以降は、必要に応じて設定を変更してください)。
- Windows 10では、「通常使うプリンター」が自動的に最後に使用したプリンタに変更される場合があります。Windowsの設定を変更することにより、「通常使うプリンター」を固定にすることが可能ですので、指定して印刷を行う場合は、設定を変更してください。
 - (1) スタートメニューから「設定」を選択して設定画面を開く。
 - (2) 「デバイス」を選択する。
 - (3) 左側メニュー「プリンターとスキャナー」を選択する。
 - (4) 「Windows で通常使うプリンターを管理する」を「オフ」に設定する。

